

令和8年 第1回定例会 代表質問

が必要と考えるが見解を伺う。

答弁 本市を代表する食や地場産品の提供を強化し本場ならではのグルメを目的とし多くの方に利用いただくとともに、近年の犬の新規飼育頭数が増加傾向にあることから、犬に関連したコンテンツを強化することで新たな利用者層の取り込みと誘客拡大につなげたい。

質問 「犬にもやさしい道の駅」というキーワードがあるが、どのような考えか伺う。

答弁 今年の犬っこまつりの来場者数は2日間で16万人と広く市内外から愛犬家の来場も増加していることから、ペット同伴旅行者の休憩や、近隣の愛犬家の交流が生まれる新たな目的地として様々な人が集い、楽しめる道の駅を目指し2日間の犬っこまつりのにぎわいが道の駅において日常的に感じられるようリニューアルに取り組みたい。

○湯沢市過疎地域持続的発展計画について

質問 今後5年間の施策、事業

推進に極めて重要なものであるが、本計画をどのように市政運営に反映させていくのか伺う。

答弁 本計画に搭載された事業の優先度を精査し、順次予算化していく。今後も予算編成を通じて計画事業を具 thể化することで、着実に市政に反映させていきたい。また、過疎対策事業債を最大限に活用することで、一般財源の持ち出しを抑制し、将来にわたる財政負担の軽減を図っていく。

質問 地域医療の確保は市民生活の根幹であり、将来を見据えた医療体制についてどのように考えているのか伺う。

答弁 市内診療所と中核病院との連携に加え、新たな医療圏内における医療機能の集約と役割分担、連携強化を図り、必要な医療を受けることができる地域医療体制の構築に取り組む。

○令和8年度教育行政方針について

質問 人口減少や少子化が進む中、本市教育行政を通じて、ど

のような人材を育て、それが将来の湯沢市にどのような姿をもたらすと考えているのか、中長期的な視点からの考えを伺う。



議員 豪 議員
質問者 おお やま 大山

○令和8年度予算について

質問 新規事業と、拡充された継続事業について伺う。

答弁 主な新規事業は、新たなオンデマンド交通の導入に向けた運行計画の策定、稲庭地区センターとして活用する旧稲庭小学校の改修に係る実施設計、洪水浸水想定区域等を更新し新たな防災マップの全戸配布、小学

を育むことを目指している。また、ふるさと湯沢市に誇りを持ち、将来どこにいても地域とのつながりを大切にし、様々な形で地域に関わり、支えていける人材の育成が教育行政の重要な使命と考えている。

- 令和8年度予算について
- 地熱開発や企業誘致の現状について
- 域内の公共交通について
- 公共施設について
- 令和8年度教育行政方針について



湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。

校特別教室へのエアコン設置に係る調査、水道施設の遠方監視システムの更新といった事業がある。継続事業の拡充は、不妊治療の助成金上限額の引き上げ、ツキノワグマの捕獲功労金を1頭当たり一万円へ増額、全消防団員の報酬増額、雄勝中央病院に対し救急医療の補助金を増額、地域づくり事業交付金制